

7月定例教育委員会会議録

開催年月日	平成29年7月27日(木)		
開催日時	午後3時00分		
開催場所	市役所別館 3階会議室		
出席委員	教育長 三笥 眞治郎 委員 永山 真江 委員 岡部 博昭 委員 木下 靖郎	職務代理者 諫本 憲司 委員 田島 みき 委員 佐藤 るり	
出席参与	教育次長 鈴木 俊行 学校教育課長 仲 はるみ 咸宜園教育研究センター長 竹尾 秀広 兼 世界遺産推進室長 学校給食センター長 永瀬 常富	教育総務課長 江田 正彦 文化財保護課長 梶原 康弘 淡窓図書館長 原田 豊司 体育保健課長 河津成一郎 人権・同和教育室長 伊藤 伸也	
書記	教育総務課 総務企画係 主幹(総括) 衣笠 雄司		
附議議案	議案第55号 教育に関する事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価報告書について 議案第56号 日田市民文化会館運営委員会委員の委嘱について 議案第57号 日田市文化財保護審議会委員の委嘱について 協議事項 教育懇談会の開催について 協議事項 表彰選考審査会委員の推薦について 報告第10号 平成29年6月期寄附採納について 報告第11号 平成29年度大分県学力定着状況調査結果について		

教 育 長	<p>皆さん、こんにちは。ただいまから7月定例教育委員会を開催いたします。</p> <p>前回議事録の確認でございますが、6月定例教育委員会の議事録につきまして変更はございませんでしょうか。（「ありません」と呼ぶ者あり）それでは、本会議終了後に御署名をよろしくお願いいたします。</p> <p>続きまして、教育長の報告事項でございますが、お手元に配付しております資料により、報告にかえさせていただきます。</p> <p>それでは、早速議事に入りたいと思います。</p> <p>議案第55号について、事務局より説明をお願いいたします。</p>
教 育 次 長	<p>議案集の1ページをお願いいたします。</p> <p>議案第55号、教育に関する事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価報告書についてでございます。</p> <p>地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条に基づきまして、報告書を作成するものでございます。</p> <p>教育総務課から説明申し上げます。</p>
教 育 総 務 課 長	<p>教育総務課から説明いたします。</p> <p>議案集は1ページ目でございます。</p> <p>資料につきましては、お配りしております別冊の資料でございます。</p> <p>まず、この評価報告書でございますが、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づきまして報告書を作成しようとするもので、今回、この報告書の原案を事務局で作成いたしました。</p> <p>この報告書の作成日程につきましては、本日、この原案を承認いただきましたら、3名の評価委員の先生方へ報告書をお届けしたいと考えております。</p> <p>そして、8月21日に、評価委員並びに教育委員の皆さんに御出席いただきまして、報告書の内容についての説明会を開催する予定でございます。</p> <p>その後、9月には、外部評価委員から意見書を提出していただきまして、10月の定例教育委員会で教育委員の皆様へ報告したいと考えております。</p> <p>そして、御承認いただいた後に、12月の市議会定例会で教育審議会に報告し、市のホームページで公開する予定でございます。</p> <p>なお、一連の協議の中でいただいた御意見などは、次年度の事業に反映できるように努めていきたいと思っております。</p> <p>それでは、報告書の中身につきまして説明をさせていただきます。</p>

す。

別冊の資料の1ページに移っていただきまして、まずこちらの目次、それから1番の「はじめに」として、1の(1)のこの報告書についてと根拠となる法律の条文を記述しております。

それから、1の(2)日田市教育委員会の概要、①教育委員さん方の役職とお名前、それから、②日田市教育委員会の組織図を記載しております。

次のページをお願いします。

③でございますが、これは市教委が所管しております施設の一覧となっております。

それから、2ページをめくってください。

2の(1)点検評価方法についての記述をしておりますが、日田市教育行政実施方針の体系を簡単にまとめております。

評価調書は、この体系の項目に沿って各種事業の成果を評価して、有効性と進捗度に分けて5から2までの点数をつけております。そして、この個別評価の平均点に基づいて、教育行政実施方針の主な取組がどの程度達成されているかをAからDの4つのランクで評価として出しております。

次のページをご覧ください。

左のページは、報告書の見方でございます。

それから右側のページが、学識経験者として評価をお願いしております3名の先生方のお名前と所属、そして審議の経過及び報告・公表ということになっております。

それから、1ページめくってください。

ここは2の2ということで、定例教育委員会の会議で審議や御協議などをお願いしました案件を開催月ごとに、また教育委員さん方が出席した会議や学校行事などの一覧でございます。

それでは、また2ページにめくっていただきまして、ここからカラーページになります。ここからが評価報告書の具体的な内容となっておりますので、右肩の通し番号を振っておりますから、それに基づきまして、時間の関係もでございますので少し割愛させていただきまして、幾つか紹介させていただきます。

まずは、通し番号1番の教育総務課、①の市民と共に創る教育委員会づくりの推進でございます。

個別評価の一番下にあります教育委員会の活性化に向けた取組の推進ということで、第6次日田市総合計画の策定に伴う審議会委員として、教育委員1名が市の政策に関する意思形成過程に参加することができたとしております。

続きまして、通し番号3番をお願いいたします。右肩の3番でござ

ざいます。

学校教育課の確かな学力の育成という項目でございます。個別評価の上段、確かな学力育成支援事業でございます。

②のところ、全国平均を下回ったのは、中学校1年生の英語と中学校2年生の数学で、その他の学年、教科は全国平均を上回った。平成26、27年度の課題であった小学校4年生の理科に改善が見られました。

調査結果をもとに弱点を補強する授業改善、補充学習、家庭学習の取組を行いました。

続きまして、通し番号13番をお願いいたします。

人権同和教育室の②学校の教育活動全体を通した人権教育の推進でございます。

個別評価の下段をお願いいたします。自分を大切にできる自己肯定感育成事業でございます。

今日の情報化、多様性社会の中で、自己肯定感を著しく損なうインターネットいじめや性的マイノリティの人権課題に関する人権学習プログラムを実施したところでございます。

自己肯定感に関する定義などの基礎研修を行い、その内容に基づく定義づけと自己肯定感育成の効果及び具体的実践例づくりを行ってきました。

協力校1年生に実施したアンケート結果では、自己肯定感に関する改善が見られました。

続きまして、通し番号17番をお願いいたします。

教育総務課の①安全・安心で快適な学校施設整備の推進ということで、小学校施設整備推進事業につきましては、有田小学校校舎の改修工事を行いました。

それから、中学校施設整備推進事業につきましては、津江中学校屋内運動場及び武道場の改修工事を行いました。

続きまして、通し番号21番をお願いいたします。

学校教育課でございます。

①地域と連携した学校づくりの推進でございます。

個別評価の中段の学校運営協議会に関する研究の推進でございます。

平成30年度からの学校運営協議会設置に向け、文科省事業であるコミュニティ・スクール導入等促進事業の研究指定校として、5校を指定し、地域や保護者の代表と研究推進委員会を組織し、先進地への研修や各地域への啓発活動に取り組みました。

平成29年度もコミュニティ・スクールの設置拡大に向けて取り組んでいく予定でございます。

それから、続きまして、通し番号30番をお願いいたします。こちらは社会教育課でございます。

②の地域の独自性を尊重した生涯学習推進のための学習環境の整備でございます。

個別評価の下段になりますが、日田市総合文化施設整備事業です。旧中央公民館は建設後39年が経過しておりまして、大規模な改修を計画中でございました日田市複合文化施設とあわせてしまして、平成28年8月5日に開館いたしました。

続きまして、37番をお願いいたします。

淡窓図書館でございます。①の蔵書の新陳代謝の推進と蔵書管理の効率化及び利用者サービスの充実ということで、個別評価の下段でございます。

管理運営方法の見直しということでございますが、淡窓図書館につきましては、開館時間の延長、それから、祝日開館の実施や司書有資格者による安定したレファレンスサービスの提供など、運営方法について検討し、サービスの充実を図るため、平成29年10月より窓口委託を行うことが決定いたしました。

続きまして、39番をお願いいたします。

これも同じく淡窓図書館でございます。③公民館との連携による遠隔地サービスの充実でございます。

宅配便を利用した自宅への配送サービスを追加しまして、電話による貸出しの受付ができるように改良をしたということでございます。

こちらにつきましては、総合評価が、昨年度のBからAに改善されたものでございます。

次に、48番をお願いいたします。

咸宜園教育研究センターの①の咸宜園教育研究センターの取組と世界文化遺産登録の推進でございます。

個別評価の右側のページになりますが、②の情報発信、普及啓発ということで、BS-TBS番組「日本遺産」の放送、それから全日空国内線機内誌の「翼の王国」での広告掲載、日本遺産サミットへの参加、それから日田福岡高速バスに日本遺産・咸宜園をPRする全面ラッピングを行っております。

それから、アプリによる大学生への活用促進、小学5・6年生による日本遺産子供ガイドを実施したところでございます。

最後に、49番と50番につきましては、文化芸術の鑑賞機会の提供、芸術文化等の保存、継承と発展という内容になりますが、文化振興に関する取組となりまして、この2件につきましては、企画振興課から所管が社会教育課に移管したため追加となった項目でござ

	<p>ざいます。</p> <p>説明は以上になりますが、本日、御意見をいただきました内容、もしくは後日で結構ですので、お気づきになった点がございましたら、御連絡をいただきまして、その内容を反映して原案として評価委員の先生方にお届けさせていただきたいと思います。</p> <p>以上でございます。</p>
教 育 長	<p>それでは、ただいま説明がございました。</p> <p>評価報告書ですが、本日、御意見をいただければいただいて、また、後日でも結構ですという発言であります、御質問、御意見等ありましたらお願いします。</p>
永 山 委 員	<p>通し番号9のページで質問です。</p> <p>一番上の評価理由のところ、「個別に指導計画作成が十分進んでいるとは言えない」というのが、最後の行にあります、一番下の目標達成度のところを見ると、「個別に作成している学校の割合は100%」で、この個別に指導計画が進んでないから、この進捗度が4になったのかなと思ったんですが、この4はどこから来ているのでしょうか。</p>
学 校 教 育 課 長	<p>目標達成度のところは、特別支援学級在籍の児童生徒について、個別の指導計画を作成している割合なので達成値が100%になっています。一方、通常学級に在籍する支援を要する児童生徒に対しては、個別の指導計画の作成が進んでいないことから、進捗度を4としています。このことは、今年度の課題でありますので、コーディネーター部会において、個別の指導計画の作成について指導してまいります。</p>
永 山 委 員	<p>わかりました。ありがとうございます。</p>
教 育 長	<p>それは、読んで分かりますか。</p> <p>根拠については、去年の評価の時にも言われましたよね、こういう根拠だから、評価が4だというような。説明を受けないと分からないような表現は、変えたほうがいいと思いますが。</p>
学 校 教 育 課 長	<p>読んでわかるような表現に変えます。</p>
教 育 長	<p>それでは、今のところはよろしいですか。</p> <p>ほかのところはありますか。</p>

<p>諫本教育長 職務代理者</p>	<p>一番最初の通し番号1のところですが、教育委員会だよりの発行とか、議題の公開について課題が残ったとなっているのは、余り公開はできてなかったとか、教育委員会だよりが発行できなかったということですか。</p>
<p>教育総務課長</p>	<p>教育委員さん方の活動について、積極的にホームページに公開できなかった。いろんな活動内容をホームページに掲載してないというところで進捗度を4としたところです。</p>
<p>諫本教育長 職務代理者</p>	<p>これは、あとのことでもいいんですが、ほかにも5点ではないところというのは幾つもあります。改善されているものもあるんですが、やはり同じような項目が4点で残っているところがほかのところでも多くあります。このまま頑張っていって5になれるところは、そのままでいいんですが、何か方法を変えたほうがいいのか、考え方を考えるほうがいいのかというところも少し気がつきましたので、次年度では、違う観点からも考えていかなというところがあるのではないかなと思いました。</p> <p>それと、もう一点ですが、所管が変わったところがありますよね。簡単でいいですが、一目で所管がどう変わったのかわかるように記載したほうがいいのかと思います。最初のほうの概要がいいのかどうかわかりませんが、少し説明がつくようなものがあつたらいいかなと思います。</p>
<p>書 記</p>	<p>事務局のほうで、どのように記載するか検討させていただいて、追加項目の49番、50番のところに記載をする。もしくは委員がおっしゃられるように、前段のほうに記載するなどの検討をさせていただきたいと思います。</p>
<p>諫本教育長 職務代理者</p>	<p>どちらでもいいと思います。</p>
<p>教 育 長</p>	<p>それでは、事務局のほうで検討してください。よろしく願いしておきます。それでよろしいですか。</p> <p>ほかにございますか。</p>
<p>永 山 委 員</p>	<p>通し番号27の、右のページに地区公民館ボランティア・人材バンクの項目がありますが、目的のところには公民館数20館掛ける2名で40名と記載されていますが、実際は3公民館でしか実施がされてないということになっています。一番下のこの課題のところ</p>

	<p>に、「地区公民館ボランティア登録制度をとっていない公民館においても」という表記があり、目標のところの20館に対して、そういうシステムをとっていない公民館があるというのが少しわかりにくいのと、もう一つは、通し番号31のところは、地域・学校支援人材バンクの登録がありますが、これは学校のほうに登録するのかもしれないですが、公民館で募集していた時期もあったと思いますので、少しこの31番と27番の登録のシステムとか、目標として出している数字と実態がわかりにくいんですが、ここを何かうまく整理できないかと思いました。</p>
教育総務課長	<p>本日、社会教育課長が欠席していますので、その旨お伝えして回答するようにしたいと思います。</p>
永山委員	<p>少しわかりにくいと思いましたので、お願いします。 それともう一つ、通し番号29の次のページの見開きで表がついてますが、事業内容の着色されている部分のあらわす意味がよくわからないんですが、何の項目に着色されているのかが、注意書きや米印とかも何もついてないので、着色が必要であれば、何か説明が必要と思いました。</p>
教育総務課長	<p>あわせて確認いたします。</p>
永山委員	<p>お願いします。</p>
教育長	<p>ほかにございますか。 またお気づきになりましたら事務局のほうに、いつまでぐらいがいいですか。外部評価委員に送ると言っていましたね。</p>
教育次長	<p>8月21日が外部評価委員の先生方をお招きしての説明会になっておりますので、その前に評価委員の先生方には資料をお送りする必要がありますので、できれば来週中ぐらいで、御意見があればお願いしたいと思います。</p>
教育長	<p>よろしいですか。 それでは、来週中までに、御意見があればいただいて、あとは事務局のほうで整理させていただいて、外部評価委員の先生方にお送りしていただくという流れで了解いただきたいと思います。 それでは、この件についてはよろしいでしょうか。 それでは、議案第55号については、このような形で可決させて</p>

<p>教 育 次 長</p>	<p> いただいてよろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）それでは、そのように扱わせていただきます。 それでは、続きまして、議案第56号について説明をお願いします。 議案集2ページをお願いいたします。 議案第56号、日田市民文化会館運営委員会委員の委嘱についてでございます。 市議会の委員会構成が変更いたしましたので、それに伴いまして、この市民文化会館運営委員会委員に異動が生じたことから、後任の委員を委嘱するものでございます。 社会教育課長が不在ですので、私のほうから説明申し上げます。 議案集3ページには委員名簿を記載しておりますが、井上正一郎議員の後任として梅原竜也議員に委員を委嘱するものでございます。 関連する条例につきましては、4ページに記載をしておりますので、ご覧をいただきたいと思います。 任期につきましては、平成29年7月1日から平成31年6月30日まででございます。 以上でございます。 </p>
<p>教 育 長</p>	<p> 議案第56号について何か御質疑等はございますか。よろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）それでは、議案第56号につきましては、原案のとおり可決してもよろしいでしょうか。（「はい」と呼ぶ者あり）それでは、議案第56号は原案のとおり可決といたします。 それでは、続きまして、議案第57号について説明をお願いします。 </p>
<p>教 育 次 長</p>	<p> 議案集の5ページをお願いいたします。 議案第57号、日田市文化財保護審議会委員の委嘱についてでございます。 これは、委員の任期満了に伴いまして、委員を委嘱するものでございます。 文化財保護課から説明を申し上げます。 </p>
<p>文化財保護課長</p>	<p> 文化財保護課でございます。 日田市文化財保護審議会委員の委嘱につきましては、先ほど次長のほうから説明がありまして、委員の任期満了に伴い、日田 </p>

<p>教 育 長</p>	<p>市文化財保護条例第47条の規定に基づき、委員を委嘱するものでございます。</p> <p>委嘱します委員につきましては、有形文化財、絵画、彫刻ほかの分野に精通しておられます元別府大学教授の渡辺文雄氏を初め、その他、有形文化財、無形文化財、史跡、天然記念物、保存技術、伝統的建造物、文化財の活用の各分野のほか、今回、新たに文化的景観の分野から久留米工業大学教授の大森洋子氏を選任しております。</p> <p>大森教授につきましては、福岡県出身の58歳の女性の方でございまして、歴史的町並みや文化的景観などの保全とまちづくりに精力的に取り組んでおられ、これまでも豆田町の伝統的建造物の調査や小鹿田焼の里文化的景観の保存に関する研究などを行うなど、日田市の文化財にも深くかかわりがございます。</p> <p>以上、再任11名、新任1名の12名の委員を委嘱するものでございます。</p> <p>任期につきましては、平成29年8月1日から平成31年7月31日までの2年間でございます。</p> <p>議案集の6ページに、日田市文化財保護条例の抜粋を添付しておりますが、第47条の組織の中で、委員の定数が20名以内とすることということでございまして、今回1名追加で合計12名となりますこと、それと、第48条では、委員の任期、2年とすることなどが定められております。</p> <p>私からは以上でございます。</p> <p>議案第57号でございますが、日田市文化財保護審議会委員の委嘱についてでございます。</p> <p>何か御質疑ございますでしょうか。よろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）</p> <p>それでは、議案第57号につきまして、原案のとおり可決してもよろしいでしょうか。（「はい」と呼ぶ者あり）それでは、議案第57号につきましては、原案のとおり可決いたします。</p> <p>それでは、続きまして協議事項に入ります。</p> <p>協議事項、まず、教育懇談会の開催について説明をお願いいたします。</p>
<p>教育総務課長</p>	<p>協議事項の1番目でございますが、教育懇談会の開催についてでございます。</p> <p>議案集につきましては、7ページと8ページでございます。</p> <p>教育懇談会につきましては、教育行政実施方針に定めた「市民と</p>

	<p>共に創る教育行政の推進」を図るため、市民の皆さんの意見を教育行政に反映することを目的としております。</p> <p>今回の提案では、実施区域を7校区、実施時期を9月下旬から11月中旬としておりました。実施時期につきましては、出前懇談会が実施される7月と8月、また市議会の報告会が4月から5月ということで、この時期を避けての開催ということでご提案する予定でしたが、このたびの九州北部豪雨の影響によりまして、出前懇談会が延期となり、開催時期は未定ということでございますが、現状では9月から11月に実施される可能性がございます。</p> <p>また、平成25年度から実施してきました教育懇談会につきましては、学校統廃合を背景としたものでございましたが、現在では、地域や保護者の方々が学校運営に参加するコミュニティ・スクールについて、平成30年度からの市内の全小中学校での実施に向けた取組を進めている状況もございますので、この際、実施内容や対象校につきましても、再検討したいと考えております。</p> <p>このような理由によりまして、教育懇談会開催につきましては、後日、再提案させていただきたいと思っております。</p> <p>以上でございます。</p>
<p>教 育 長</p>	<p>諸事情によりまして、後日また再提案をさせていただきたいということでございます。</p> <p>この懇談会については何か御意見等はございますでしょうか。よろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）それでは、また再提案ということでよろしく願いいたします。</p> <p>続きまして表彰選考審査会委員の推薦について、説明をお願いします。</p>
<p>教育総務課長</p>	<p>それでは、引き続き、私から協議事項の2番目でございます。</p> <p>表彰選考審査会委員の推薦についての依頼ということで、資料につきましては、9ページと10ページでございます。</p> <p>平成29年度の市政功労者選考に当たりまして、規程に基づく表彰選考審査会委員に、日田市教育委員会より1名の就任の依頼がございました。</p> <p>この件につきましては、業務内容が、市政功労者選考に係る調査審議ということで、年1回、10月の初旬が予定されております。</p> <p>任期につきましては、平成29年10月1日から平成30年9月30日でございます。</p> <p>この内容で推薦をお願いしたいと考えております。</p>

教 育 長	<p>それでは、ただいま説明がありました表彰選考委員会委員の推薦についてでございます。</p> <p>推薦をよろしくお願ひしますということでございます。</p>
永 山 委 員	<p>岡部委員にお願いしたいと思ひます。</p>
教 育 長	<p>岡部委員さんをお願いをしたいという御意見がございますが、皆さん、いかがでございましょうか。（「お願ひします」と呼ぶ者あり）</p>
岡 部 委 員	<p>大変おこがましいと思っておりますが、他の委員さんも他の委員等に就任されていますので、私でよければ受けさせていただきます。</p>
教 育 長	<p>ありがとうございます。</p> <p>このように御了解いただけましたので、岡部委員さんを推薦させていただくということで、そのようにさせていただきたいと思ひます。それでは、岡部委員さん、よろしくお願ひいたします。</p> <p>続きまして報告事項に入ります。</p> <p>報告第10号についてお願ひします。</p>
書 記	<p>それでは、議案集の12ページをお願ひいたします。</p> <p>報告第10号、平成29年6月期分の寄附採納について御報告を申し上げます。</p> <p>まず、地区寄附の採納が1件となっております、三和小学校校友会様から三和小学校へ、リールホースを1台、1万80円相当を御寄附いただいております。</p> <p>次に、一般寄附の採納でございますが、こちらも1件となっております、三池町の今井正雄様から、昭和41年に大分で初めて開催されました第21回おおいの国民体育大会の写真21枚を御寄附いただいております。資料に掲載しております5万円相当額につきましては、フレーム代と現像代の金額でございます。</p> <p>6月につきましては、以上の2件でございます、物品相当額6万80円の御寄附をいただいたところでございます。</p> <p>報告第10号につきましては以上でございます。</p>
教 育 長	<p>これについて、何か御質疑等はございますか。</p>
永 山 委 員	<p>今回、御寄附いただいた写真は、市民の方が見るところに展示を</p>

<p>体育保健課長</p>	<p>するような機会はないのでしょうか。</p> <p>現在は、アオーゼの保管庫で保管をさせていただいております。せっかくの機会でございますので、一般の方に見ていただくようなイベントを計画したいと考えておりますが、まだ時期については決定しておりません。</p>
<p>教 育 長</p>	<p>計画をするということですね。</p> <p>ほかにもございますか。（「いいです」と呼ぶ者あり）</p> <p>それでは、続けさせていただきます。</p> <p>報告第11号についてお願いします。</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>学校教育課でございます。</p> <p>報告第11号、平成29年度大分県学力定着状況調査結果についてでございます。</p> <p>別冊2をご覧ください。</p> <p>まず、表紙をめくっていただいて、実施期日は4月26日、対象学年は小学校5年生と中学校2年生です。</p> <p>調査内容につきましては、小学校5年生が国語、算数、理科の3教科、中学校2年生は国語、数学、理科、英語、社会の5教科と学習、生活に関する質問紙調査でございます。</p> <p>中学校の社会科は今年度より追加されました。</p> <p>調査結果でございますが、着色しています部分は、偏差値が50以上のところでございます。</p> <p>まず、小学校5年生の結果ですが、表の着色部分でわかりますように、偏差値では全ての教科、項目で50以上を達成しており、着実に学力の定着が図られております。</p> <p>あわせて、2ページの上のグラフをご覧ください。</p> <p>ここ数年、偏差値51から53を推移しており、安定して学力の定着が図られているということがわかります。</p> <p>次に、中学校の結果です。1ページに戻っていただいて、教科全体の偏差値は全て5教科で50を上回りました。</p> <p>項目では、数学の知識のみ0.1ポイント、わずかに下回っておりますが、中学校においても標準的な学力の定着が図られているという結果でございました。</p> <p>これを2ページにあります2年間の推移で見ますと、ここ3年間で安定してきているということがわかるかと思えます。</p> <p>これは中学校の学力向上対策が少しずつ実を結んできた結果であると捉えています。</p>

3 ページをご覧ください。

総合質問紙調査結果の内容でございます。

数値は肯定的回答の割合をあらわしております。この質問紙は 91 の項目がありますが、今回、生活習慣や家庭での学習習慣に関すること、学習に対する意識などに関することの代表的な項目を示しております。

太線枠で囲んでいますところは、県の値を超えたところ、色つきのところは県の値を 5 ポイント以上超えたところでございます。

上段の自己認識や社会性等の項目では、自分にはいいところがある、地域の行事に参加しているという肯定的回答が、大分県全体の数値より、小中ともに高くなっております。

学校に行くのは楽しいという回答は、県の数値よりも低くなってありますが、昨年度の回答を上回っております。

次に、生活習慣や家庭での学習習慣でございますが、県とほぼ同じか、上回る結果となっております。

特に、小学校でもテレビなどの視聴やゲーム、携帯、スマホの使用という項目は、2 時間未満の割合が県よりも高いという状況です。

4 ページです。

学習に対する意識の向上では、小学校では「教科が好き」が 4 教科とも県の値を上回りました。

中学校は「好き」、「わかる」という項目の数値が、教科によって偏りがあるということはわかりますが、これも昨年度の回答と比較してみますと、肯定的回答は高くなってきております。

その下の表は、授業での学習状況でございます。

授業の中で、話し合い活動が行われていたかや、目当てや課題、まとめや振り返りが位置づけられていたかなどについて質問したものでありますが、ご覧のように小中学校ともに県の値を上回っており、日田市においては、主体的に学習に取り組んでいる子供の割合が、特に中学校で高いということがわかります。

次に、5 ページに現状と分析、6 ページから今後の取組を載せています。

今後、この資料を使いまして、校長会や教育長会で提示をして、各学校の改善に活用していきたいと考えております。

ここでは、ポイントとなる取組の説明をいたします。

まず、5 ページの現状のことですが、小学校の（イ）のところ、同じく中学校の現状の（２）には、日田市全体の課題となった問題内容を具体的に載せております。

今後、日田市全体の各教科部会の中でも課題を表記し、改善に向

けた取組が図られると考えています。

続いて、分析でございますが、5ページと6ページです。

まず、小学校3つ目の丸、授業改善、補充学習、家庭学習のきめ細かな指導が継続できているものの、手だてそのものに大きな工夫、改善がないままで経過しております。

今後さらに授業改善を進めるとともに、授業と連動した家庭学習と補充学習の取り組みを推進していく必要があると考えております。

6ページ、中学校の分析のところの1つ目のところです。

先ほど申し上げましたように、中学校では、この3年間、偏差値50を上回る結果となっています。この結果は、授業改善はもちろん、この数年において補充学習と家庭学習の内容や今後について全中学校で見直しを行い、教師個人による取組から、学校全体による組織的な取組へと改善が進んだことによるものと考えています。

また、一番下の欄でございます、2、総合質問紙調査の学習に対する質問で、平成27年度以降、肯定的回答が年々上昇する傾向となっています。

このことから、めあて、まとめなどを位置づけた授業改善や主体的に取り組む授業への変換などの授業改善が普及してきたことが要因と考えております。

この中学校の結果をさらに安定させていくためには、2つ目、3つ目の丸のところでございますように、教科部会で活用した取組をさらに進めることや、6つ目の丸にありますように、小学校での安定した結果を中学校へと順調に引き継ぐために、中学校1年、入学段階からの学力偏差値の仕組みを構築する必要があると考えております。

そこで、今後の取組でございます。

6ページの下から7ページにかけて載せております。

小学校、中学校、共通して取り組むことを5項目、さらに中学校には4項目追加しております。

この場では、項目の紹介をさせていただきます。細かい内容につきましては、後ほどお読みいただければと思います。

小中の共通項目が、1つ目が学力向上に係る3つの柱、授業改善、補充学習、家庭学習による取り組みの推進、2つ目が日田市学力向上アクションプラン、学力向上プランの確実な遂行、7ページの3つ目が、学力向上の目標達成に向けた組織的な取組の推進、4つ目が学力調査、全国、県、市の結果の分析と具体的対策の徹底、そして、5つ目が学力向上支援教員、習熟度別指導推進教員による取組の推進と考えています。

これらの項目に加えまして、中学校では中学校学力向上対策3つの提言の推進、中学生学びアップ授業、休道水曜塾の推進、土曜塾の推進、英語検定の推進、研究指定校、そこに3校ほど載せております。推進を図っております。

(4) 番にございましたように、学力調査の結果の分析と具体的対策の徹底ということでございますが、現在、県の調査の結果を受けまして、各学校において分析が行われております。

今週の火曜日には、各学校の主幹教諭、教務主任、研究主任を集めた会議において、学力向上の取組についての協議なども行いました。

各学校では、分析結果をもとに、どんな取組が効果的であったのか、また、結果の出なかった教科については、何が足りなかったのか、今後、新たな一手をどう打つのかを考えて、2学期から実践していくということになります。

また、8月中には、各学校において学力向上会議がございます。

保護者や地域の方にも、調査結果について御説明をして、御意見をいただくという予定になっております。

最後に、8ページと9ページをご覧ください。

これは、県教委からの大分県学力学習状況調査結果の速報という形でいただいたものでございます。

県全体の結果と各市町村の平均一覧でございます。

ご覧のように県全体としましては、小学校は昨年度と同様に全ての教科で偏差値50を超える結果でございました。

一方、中学校は、国語、社会、英語の活用が50を下回るという結果です。

続いて、9ページです。市町村ごとの偏差値の平均値でございます。着色している部分は、偏差値50を超えた教科を示しております。下から4番目の日田市の欄をご覧ください。小学校は全て50を上回っており、中学校では数学の知識のみ、わずかに50を超えていないという結果でございました。

この結果を並びかえますと、小学校では18市町村中8番目、中学校では6番目であります。

ちなみに、小学校と中学校の偏差値を合計した総合順位は、豊後高田市、宇佐市、臼杵市、そして4番目が日田市となっております。日田市は総合4位というような結果でございました。

なお、この8ページと9ページの資料につきましては、後日、県教委のホームページ上にアップをされる予定ですが、まだ現在のところはされていないようですので、取り扱い注意ということでお願いいたします。

<p>教 育 長</p>	<p>私からは以上でございます。</p> <p>小学校5年生、中学校2年生の県の学力調査の結果でございます。これについて、何か御質疑等はございますでしょうか。</p>
<p>岡 部 委 員</p>	<p>6ページの中学校の分析の最初の丸で、昨年度に引き続きほとんどの教科で偏差値が50を上回ったと、この数年、補充学習、家庭学習の内容や方法について、全中学校で見直しを行い、教師個人による取組から学校全体による組織的な取組へと改善が進んだ結果によるものである、これ、いいほうに解釈していると思うんですね。</p> <p>やはり学力が伸びているかどうかを判定する材料は2つあるんです。</p> <p>まず、例えば中学生2年ですから、去年の2年生とか、その学年が過去と比べて伸びているかどうかという2通りありますね。</p> <p>6ページの中で、2ページに戻りますけど、下の表が中学2年生の偏差値の推移で、一番右が今回のですね。この中学2年生は、3年前は小学校5年生だったわけで、26年度の小学5年生、これ同じ学年だと思えます。</p> <p>そうすると、5年生のときは偏差値がそこにありますが、どちらかという落ちてるんですね。だから、比較するときはやはり今の他の集団と比べてどうなのかという考え方と、同じ集団が過去と比べて順調に伸びているかどうか、2通りを比較しないとイケないと思います。6ページの何か順調にいつてるように書いてありますが、そうでもないんじゃないかなと、何もしてないというような言い方はしてないんですが、伸びてはないんじゃないかなと私は思うんです。</p> <p>そこら辺が、なかなか、どう解釈すればいいか、同じ学年ですからね。</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>比較の仕方というのは、委員のおっしゃったとおり、同一学年での比較と同一集団での比較の2とおりあると思います。</p> <p>先ほど申しましたように、同一学年で見ますと、中学校については確実に安定してきているということが言えます。</p> <p>同一集団での比較では、2ページで見れば、平成26年度小学校5年生の子供たちが、今年度は中学校2年生になっています。確かにこの数字だけを見ると、委員のおっしゃっているとおりに、やはり1ポイントから2ポイント落ちていることがわかります。</p> <p>そのことを受けまして、学校教育課としましても、6ページの分析のところの丸の4つ目に、平成26年度の小学校5年生のときの</p>

<p>教 育 長</p>	<p>結果よりも、1.2から2.4ポイントマイナスになっていることから、中学校1年生に入学したときからの学力定着の仕組みを今後構築していく必要があると記載しました。</p> <p>小学校と中学校の段差をなくすということがよく言われるのですが、例えば宿題の出し方であるとか、授業方法であるとか、小学校と中学校が十分連携をとりながらやっていくことが、今後ますます必要になるということが、この結果からも明らかになっていると捉えているところです。</p> <p>よろしいですか。</p> <p>これについては、毎回、御指摘をいただいておりますが、いろんな角度からの分析というのが必要だというように思います。</p> <p>また、小学校の問題数と中学校の問題数、また数も違いますし、内容的なものも違いますので、一概には学年を追ってどうかということも、また、他の市町村の状況も見ながら、あるいは全国と比べて、大分県の場合はやはり全県的に中学校から伸び悩んでいるという、数字だけ追いかけると、同じ学年でも小学校のときにはよかったのが、中学校では落ちているという市町村が多いという結果になっておりますので、この辺の分析をしっかりと、やはり中学校1年生段階で、やはり落としているという認識は学校教育課も持っているし、そういう学校もあるし、学校間格差がですね、小学校では非常にいい結果出していた子供たちが中学校の1年間で落ちているというところが、なぜかということをしっかり分析して、対応していかないと、日田市全体としてやっぱり課題解決にはならないのではという認識は持っているというところでいいですか。</p> <p>いずれにしても、大分県の課題には中学校の学力向上があるということで、対策は続けていきたいと考えているところでございます。</p>
<p>岡 部 委 員</p>	<p>この前、日田高校の教頭と話をしたんですが、今の生徒は宿題が多いと言うと、なかなか、部活している子もいるので。日田校には日田高の役目があるんだと、生徒のほとんどの90何%が進学しているわけですから、力をつけることになる。そこで浮き上がってくるのが、毎日の課題を、宿題をどの程度にするのがいいのか、出し過ぎたらやはり生徒が消化不良になるし、自分の勉強がしたいと思うわけですからね。かといって全然出さないと力がかないと、だからそこら辺の調整を学校でしていますかという話をしたことがある。それをしないと、本当に文武両道でうまくいかない。こういう調整を学教が1日当たり、どれぐらい家庭学習をさせればいと考</p>

<p>学校教育課長</p>	<p>えると、そのためには各教科がどの程度ずつ、毎日交代で、どれぐらいずつ課題を出していけばいいかという調整をしないと、子供がかわいそうな気がする。</p> <p>それがうまくいっている学校もあれば、そうでない学校もある。だから誰かがどっかで手綱を締めておかないと、それが長期的には学力の向上につながってくると思っているので、学校教育課は、そういうところにも、上から押さえつけるわけにもいかないですが、少し調整をしたらいいかなと思います。</p> <p>小学校の場合は、ほとんどの教科を担当が持っておりますので、宿題の調整というのはしやすいようです。</p> <p>平日の場合は、大体、授業で学んだことを、その日、復習として出す。週末については、今まで学習したことも含めて、それから活用に関する問題とかを入れながら、ちょっと変化を持たせて、宿題を出すということをしております。</p> <p>中学校は教科担任制でありますので、これまで中学校は割と教科担任の先生が自分だけの考えで宿題を出していたので、学年によってはとても多かったり、あるいは少なかったりとかいうことがあったと聞いています。</p> <p>ただ、今は組織的にというところで、教科担任同士が連絡をとり合って、今日、うちはこれぐらい出すとか、週末はこんな課題を出すとかというような情報交換や、授業の中で学習した内容を取り入れたりとか、調整したりとかしながら、適度な量を出していこうというような共通理解を行っていると考えております。</p> <p>現在、各学校が学校の実態に応じて取り組んでいますので、今後必要があれば、学校教育課も指導してまいりたいと考えています。</p>
<p>教 育 長 田 島 委 員</p>	<p>よろしいですか。他にございますか。</p> <p>最後のページの各市の偏差値ですが、社会科は今年が初めてのテストだったんですかね。日田市は、知識、応用、両方で50を上回っているということで、活用に関しては黒いところが4個しかないということは、とてもいい点なんじゃないかなと思うんですが、社会科がよかったというのは、どのような分析をされているんでしょうか。</p> <p>また、よかったところは、児童生徒たちにも、ここがとても今回よかったよということ、ますますやる気を出してもらえるような形でつなげていただければなと思います。</p>

学校教育課長	<p>県の調査において中学校の社会科は、今年度より調査教科に追加されました。日田市が独自にやっています1月の学力調査は、5教科実施してきました。その調査結果でも、社会科は非常に良好な結果であります。社会科については基礎的などころ、それから活用にかかわるところについても順調に力がついていと把握しております。</p>
教 育 長	<p>日田市では、中学校の5教科はもう何年も続いているということではないですか。</p>
学校教育課長	<p>はい。現在の実施時期での市独自の調査は、平成24年度より行っております。</p>
教 育 長	<p>小学生まで4教科。</p>
学校教育課長	<p>昨年度から1・2年生が加わりました。1・2・3年生は国語と算数、4・5・6年生は4教科実施です。</p>
教 育 長	<p>中学では5教科。</p>
学校教育課長	<p>はい、中学は5教科です。</p>
教 育 長	<p>先生方たちは、1月に毎年テストがあるという意識で授業に取り組まれていると思います。</p> <p>ほかにありますか。</p>
佐 藤 委 員	<p>直接この学力調査の結果と関係ないかもしれないんですが、国語の力が全ての教科の基本になると思うんですけど、5ページに中学校の現状というところがあって、2番の文章、教科領域・問題内容で、国語は問題内容に、「説明文の内容の読み取りに課題が見られる」と書かれているんです。</p> <p>ということは、やはり少し読書量が足りないようなところもあるのかなと感じるんですが、それぞれの学校で親子読書とか、読書感想文とか、学校があるときは朝の読書タイムとかいろいろ工夫してくださっているというのは聞いています。</p> <p>ただ、夏休みに読書感想文とか、親子読書以外に、必ず1日10分は読書をしようというような課題を日田市全部で取り組んでいただくように望むんですけど、なかなか読書感想文とか、親子読書とかいうと、もう読書感想文なんかは、1冊だけ、ぱあっと読み飛ば</p>

<p>学校教育課長</p>	<p>して書いたりとか、毎日の読書の定着にはなっていないと思うんですが、できるだけ宿題を始める前に10分読もうとか、夜寝る前に10分読もうとかいうことで、10分読んだ日は丸をつけるという夏休みの習慣をつくっていただけると、子供たちの読書もさらに進むと思うので、保護者としての要望なんですけど、よろしく願います。</p> <p>おっしゃるように、私も全ての力の源になるのは読書量ではないかと思えます。</p> <p>各学校には、図書館員がおられますので、図書館員と担任が連携しながら、子供たちの読書量を増やしていくための取組というのを、月間を決めたりとか、あるいは読書タイムを設けている学校とかいろいろありますので、平日については、様々な取組を継続して行っているところです。夏休みは、子供たちが時間がたっぷりあって、読書をゆっくりする時間があるのではないかとはい思いますが、子供たちもすることが、結構いろいろありますので、そのあたりは学校と保護者が連携しながら、進めていきたいと考えます。要望として伺っておきたいと思えます。</p>
<p>佐藤委員</p>	<p>願います。</p>
<p>教育長</p>	<p>今の御意見はまた校長会等で、読書というのはやはり大事な学習と申しますか、読書好きの子供になってほしいという願いも持っていますので、全部の小中学校でやれるといいなと思えますので、ただ、全学校で1日10分、読めということでは、やはり教育委員会として、例えばという話で言いますが、各学校でそういう具体的な目標を立てて、それ以上に取り組んでいる学校もたくさんあります。親子読書の取組を実施している学校もたくさんありますので、また広がっていくようにしていきたいというところでよろしいですか。ほかにございますか。</p>
<p>田島委員</p>	<p>1学期が終わって、中学生学びアップ授業のほうは、どのような形で進みましたか、その辺、御報告いただきたいと思えます。</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>まず水曜塾は1年生と2年生が対象です。</p> <p>数学のみであります。回数で言いますと、6月にスタートした1年生は5回開催をしています。5月にスタートした2年生は8回行っております。</p> <p>中学校2年生を対象とした土曜塾は、月に2回というところで、</p>

<p>教 育 長</p>	<p>現在4回実施をしているところです。</p> <p>人数ですが、1年生の水曜塾は130名、2年生の水曜塾が109名、土曜塾が67名という人数になっております。</p> <p>土曜塾は、前期と後期で募集いたしますので、この人数についてはまた変更があるかとは思いますが。</p> <p>水曜塾の指導者の方は40名で、全校に行っていていただいております。</p> <p>よろしいですか。また御希望があれば、ぜひ学校に皆さんを御案内しますので、なかなかやはり、私も行かせていただきましたけど、真剣に学習しています。</p> <p>また、指導者の先生方も一生懸命やっただけで、とてもいい取組だったなど今感じているところです。</p> <p>特に、苦手な子供たちが一生懸命にやっているので、すごく何か空気が張り詰めた感じでやっていますので。</p>
<p>田 島 委 員</p>	<p>始まる時に、たしか各中学校の希望している人数をお聞かせいただいたと思うんですが、地元の学校で恐縮ですが、送り迎えの都合なのか、希望者がいなかったようなことを、始まる当初、聞いたものですから、そういったところは特に、2学期からは、ほかの学校の生徒さんたちはこういった形で取り組んでいる様子とか、学校の保護者の方たちにもそういった話を聞かせていただけるような機会があって、少しでも新たにまた別の生徒さんたちも参加できるようなチャンスをつくってあげていただければと思います。</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>承りました。</p> <p>中心部の4つの中学校以外の学校につきましては、土曜日についてはスクールバスを出しておりますので、スクールバスを利用することはできます。</p> <p>ただ、部活の関係であるとか、習い事の関係であるとかで参加が少ないという学校も中にはありますので、呼びかけについては学校を通してまたしていきたいというふうに考えています。</p>
<p>田 島 委 員</p> <p>教 育 長</p>	<p>よろしく申し上げます。</p> <p>よろしいですか。ほかはございますか。</p> <p>それでは、次に移らせていただきます。</p> <p>その他について、事務局からお願いいたします。</p>

教育総務課長	次回、8月の定例教育委員会でございますが、8月24日木曜日、15時から開催したいと思いますので、よろしくお願いいたします。
教 育 長	8月24日の15時、勉強会は。
教育総務課長	勉強会は1時30分からお願いいたします。
教 育 長	<p>1時半ですね、8月24日の1時半と3時ですね。よろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）</p> <p>その他ありませんか。</p> <p>それでは、以上で全て終わりましたので7月定例の教育委員会を閉会いたします。どうもお疲れさまでございました。</p> <p>終了時刻：午後4時12分</p>